

人権視察研修



令和2年3月1日 現在

世帯数	855戸
男	952人
女	992人
総人口	1,944人



人権啓発センター

入山辺地区人権啓発推進協議会主催、入山辺公民館共催で2月15日に人権視察研修が行われました。今年度は千曲市の「長野県人権啓発センター」を見学し、参加者は16名でした。

長野県人権啓発センターは平成12年に人権問題に対する理解を深め、自分自身の課題として人権問題を考えってもらう場として開設されました。資料の展示や人権啓発ビデオ・DVD・パネル等の貸出しや、学習会等の啓発活動及び人権に関する総合相談を



北斎館

行っています。

今回の研修では外国人の人権問題やヘイトスピーチについて学習しました。近年では外国人移住者も増え、入山辺地区内にも居住している外国人の方がいます。国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことを「多文化共生」と言います。地域での生活やルールを理解してもらうことは必要なことですが、食べ物や文化、風習、生活様式など信仰上の決まり事や母国の文化・習慣などがその人にとつ

て大切なものであることを私たちも理解し尊重して生活していきましょう。

昼食後は小布施町へ移動し、岩松院、北斎館、おぶせミュージアム・中島千波館を見学しました。

岩松院や北斎館では葛飾北斎の作品を鑑賞し、その生き方について学びました。

おぶせミュージアム・中島千波館では現代日本画を代表する作家である中島千波の作品や小布施の伝統文化財である屋台蔵の展示、その他企画展示が行われていました。

今年度は人権について学習するとともに、小布施町の各文化施設で芸術・文化に触れ、芸術家たちの生き方に学ぶことのできた視察研修となりました。



おぶせミュージアム・中島千波館

人権講演会開催

入山辺老政会、入山辺地区人権啓発推進協議会主催、入山辺公民館共催による人権講演会が2月21日に開催され、約40名の方々に参加をいただきました。

今年度は里山辺にある廣澤寺の東堂で駒澤大学名誉教授の小笠原隆元氏より人権についてご講演いただきました。

小笠原隆元氏は外国でも活動しており、ご自身が外国で過ごす中で人権について感じることを中心にご講演いただきました。世界ではまだまだ人権についての認識があまりない国がたくさんあり、日本は世界的に見ても人権等の部分で恵まれているというお話がありました。参加者の皆さんも終始興味深く話を聞いている様子でした。



南方公民館が新しくなりました。

南方公民館は建築後40年を経過し、老朽化によって各所に不具合が見られ、耐震性も著しく低くなっていました。

南方公民館はこの度、一般財団法人自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業・コミュニティ助成事業の採択を受け、改築をしました。64世帯・およそ180人が暮らす南方町会の住民自治・防災・福祉・社会教育など様々な活動の拠点として今後地域の活性化に大いに貢献する施設となります。



新しい南方公民館



中村の事八日

中村の事八日は毎年2月8日に行われ、粕念仏と呼ばれています。昔は各家の入り口で粉殻と胡椒を燃やし、村外れの道祖神にぼた餅を供えていました。時代の流れで今はその光景を目にすることはなくなりました。

当日の夕方は小学生が藁を集め、大人たちは公民館の庭で縄よりをし、百足(ムカデ)を作りまします。百足は疫病神に見立てたもので長さ5〜6m程です。この百足にわらじをつけ完成です。

その間、当番の母親たちは台所で温かい粕汁を作ります。子どもたちは粕汁を食べ、その後完成した百足に最上級生が乗ります。その他の小学生



たちが細い角材の一面毎に25本の線を入れ、四面で合計100本になる百万棒で鉦(かね)をたたき念仏を唱えながら村外れまで百足を引き疫病神を追い出します。子どもたちは疫病神を追い払うため振り返らず一目散に帰宅します。尚、百万棒とサイコロをしめ縄に取り付けた物を公民館の玄関に飾り村人を見守ります。

北入中部町会(中村) 町内公民館長 矢島 守



中村公民館の玄関に飾られた百万棒とサイコロとしめ縄

山辺地区立志式開催

2月1日に山辺地区(里山辺・入山辺)に住む中学2年生を対象に立志式が開催され、69名の参加がありました。

立志式は山辺地区として15歳(昔の元服の年齢)の節目をお祝いするとともに、地域で活躍する先輩の話を聞き、進路を考える一助とすること、地域住民との関わりの中で立志を迎えどんな大人になりたいかを客観的に考え、自分も地域の一員としての誇りを加してもらうことを目的に行われています。



第18分団 加納分団長

式では町会・地域で自分たちがどのような町会組織の中で生活をしているのかのお話や地域の先輩からのメッセージ、地域を支えている方からのお話等が行われました。

いきいき百歳体操体験会開催

12月23日と2月25日に入山辺公民館の大会議室で「いきいき百歳体操体験会」が開催され、延べ26名の参加がありました。

いきいき百歳体操とは負荷を調節できる「おもり」を使用した筋トレです。ゆっくりとした動作で、高齢の方や体力に自信のない方、初めての方でもすぐに実施できるものとなっています。DVDで動作の説明を見ながら行う体操なので動きを間違うことなく行え



ます。すでに全国で50数市町村、1500か所以上の場所で行われています。いきいき百歳体操を始めてみたい方や興味のある方は健康づくり課までお気軽にお問い合わせください。



地域の防災を担う活動紹介では入山辺の第18分団の加納分団長よりお話をいただきました。消防団では団員の確保が課題の一つとなっていますが、中学生の皆さんにはぜひ将来消防団に加入していただき、地域の防災を担ってほしいとの想いをお話いただきました。また中学生からは決意の言葉と「立志を迎える自分」から「明日へ羽ばたく自分」に送る漢字一字をそれぞれ考えてもらい代表の生徒の方々に発表していただきました。その他にも生徒の皆さんに読んでいただきたい本の紹介コーナーや記念品の配布等を行いました。今年度の立志式も盛大に行われ、中学生と地域の絆が深まる式典になりました。